

ヒアリを学ぶ



Solenopsis invicta

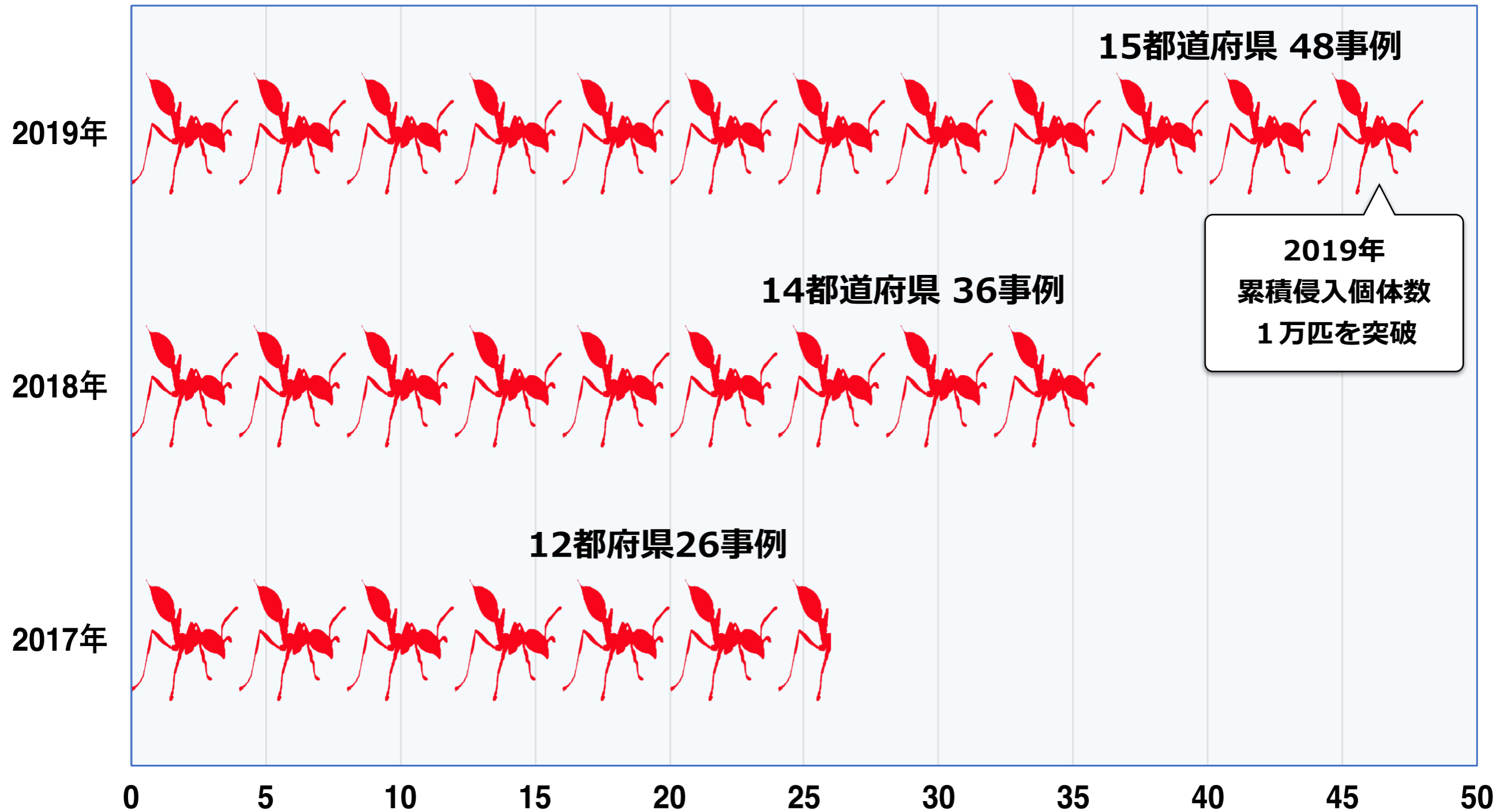
Photo by Y. Hashimoto

橋本 佳明

ヒアリは、どうなった？

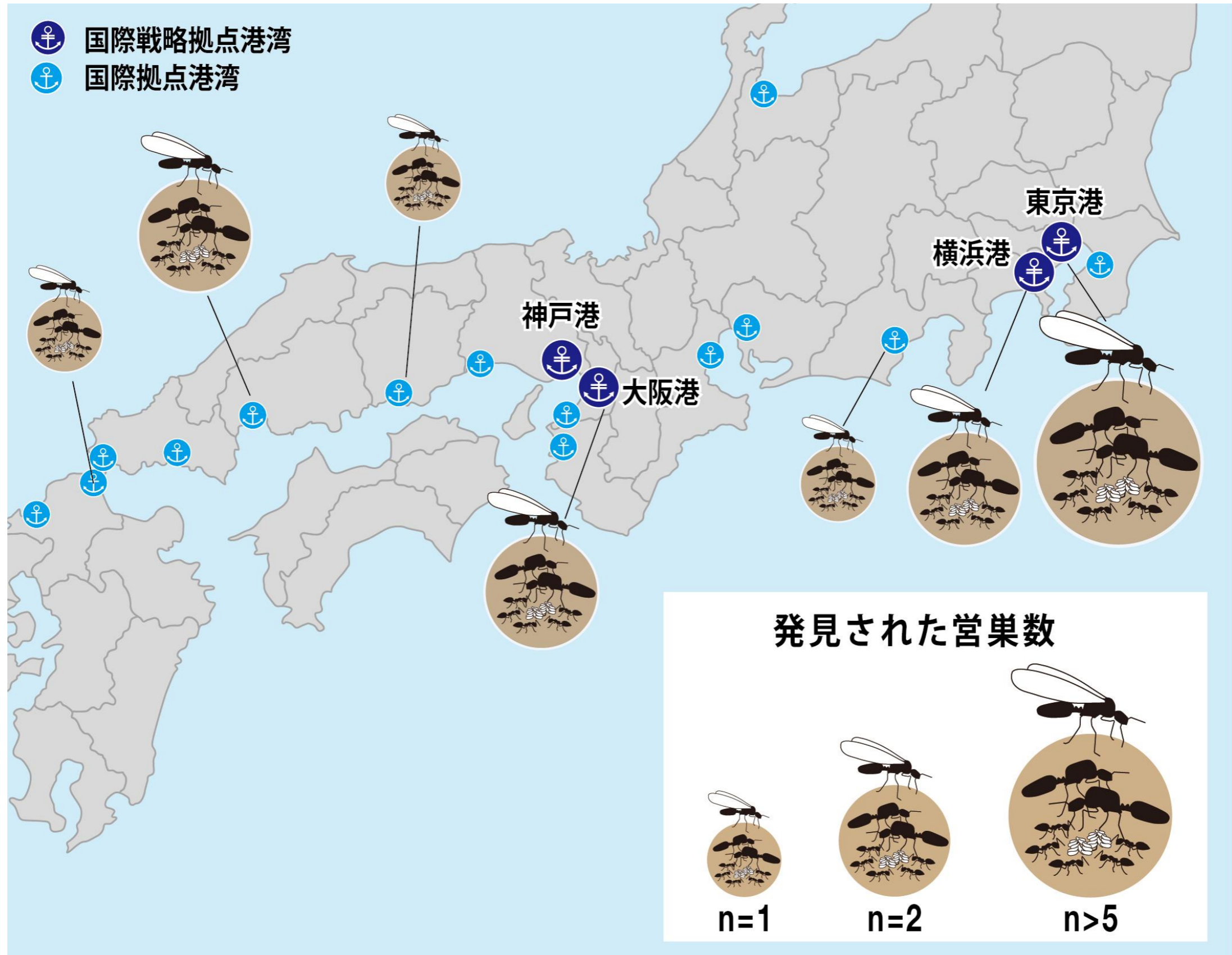
－ ヒアリの国内侵入の現状 －

増え続ける累積ヒアリ侵入発見事例数



2020年8月現在，16都道府県 56事例に拡大

ヒアリの宮巣確認件数も増加



ヒアリは、なぜ怖いのか

— ヒアリの生態 —

● 高い増殖能力

6年ほどで、一つの巣の働きアリの数は20万匹に達する

● 高い分散能力

営巣後3年ほどで、年間4000から6000匹の有翅生殖虫を生産

新女王アリは母巣から2 kmほど飛翔でき、風などで最大30kmも分散して創巣の記録もある。

●刺傷被害

ソレノプシン（アルカロイド毒）の毒針をもつ

アナフィラキシーが起きなくとも、かなり重篤な皮膚疾患をもたらし（細胞毒性、溶血性、壊死性）

●農業や産業への被害

米国では、ヒアリによる農業への被害額は、年間4.2億ドル（466億円）と報告されている

ヒアリが沖縄県に定着したら、観光業や農業に年間438億円の被害額という算出も

（青山夕貴子, et al. 沖縄県におけるヒアリの侵入・蔓延時に推定される経済的損失. 日本生態学会誌, 2020, 70.1: 3-14)

ヒアリは、なぜ怖いのか

— 営巣したヒアリの駆除 —

●女王アリを駆除する必要がある

働きアリの殺虫剤で駆除しても、巣の奥に潜む女王アリの殺虫しない限り根絶できない（産卵するのは女王アリ）

●巣の引越しを行う

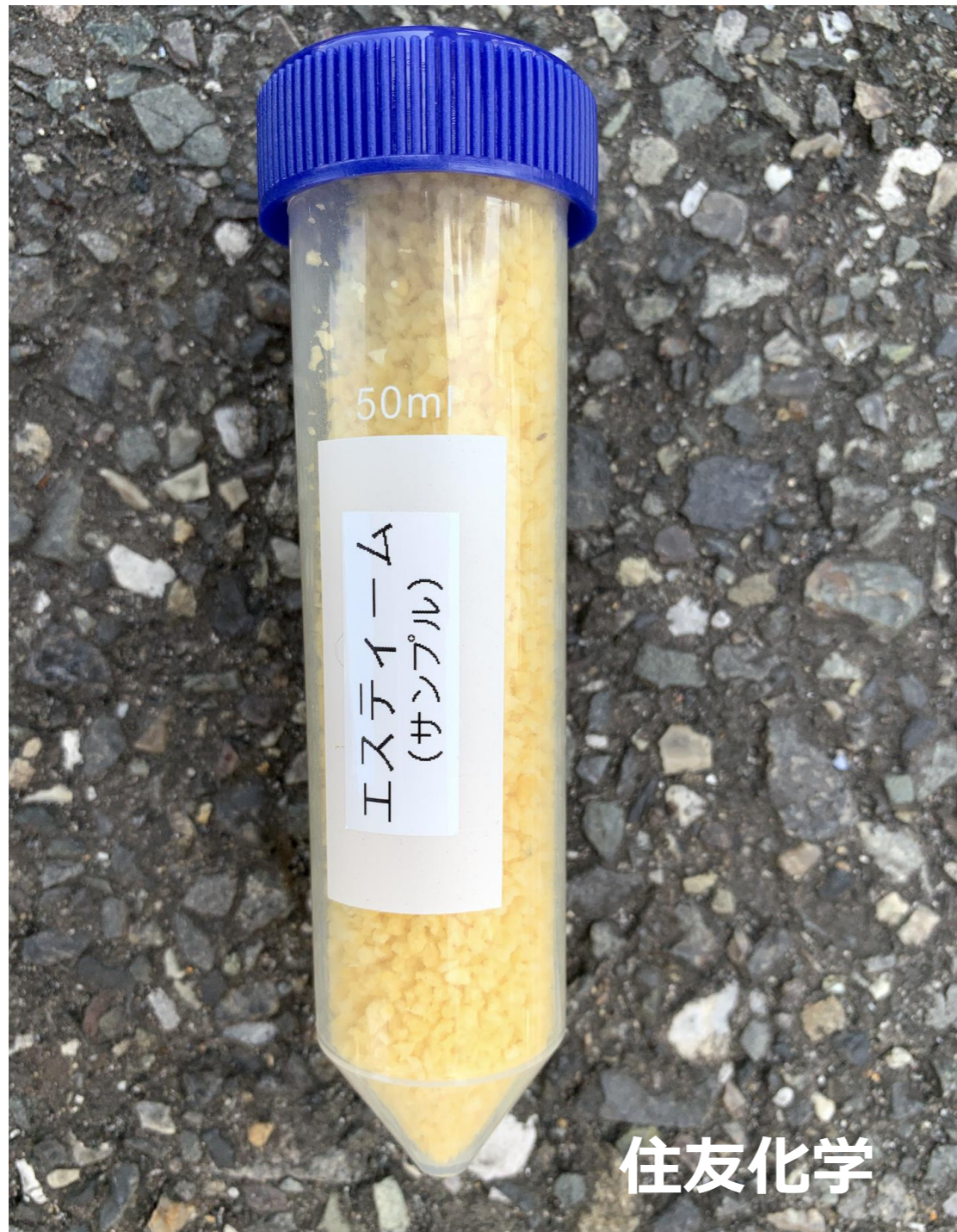
働きアリが多数殺虫されると、女王アリは働きアリを連れて、簡単に巣を移動する

●巣を見つけるのが難しい

巣口は巣本体から10mほど放射状に伸びた地下トンネルの先(働きアリの追いかけても巣を見つけるのは困難)

アリ塚ができるのは営巣して2～3年後

Esteem-成長阻害剤



有効成分：ピリプロキシフェン

**餌剤：コーングリット
(トウモロコシ粉)**

エステームは薬剤をトウモロコシ粉でコーティングした粒状。散布したエステームをヒアリが巣に持ち帰って摂食するとピリプロキシフェンの効果が表れ、女王アリの産卵や幼虫の成長を妨げる

**雨などで濡れると効果が
無くなる**

ヒアリの巢の駆除方法

女王アリの産卵や幼虫の成長を阻害する毒餌を巢に持ち帰らせて、新しい働きアリの数を減少させ、巢を弱らせていく方法しか、有効な手段は無い。

薬剤が効果を発揮するには、8週間ほどが必要で、その間、毒餌の散布を続ける必要がある。

“一旦、ヒアリの営巣を許し、分布が拡大した国や地域でヒアリの根絶に成功したところはない”

ヒアリ対策は侵入阻止と早期発見・ 早期駆除が重要（営巣を許すと根絶 が難しくなる）

ヒアリは特定外来生物法によって指定された侵略外来種
なので、怪しいアリを見つけたら、地元の環境課や環境
省へ連絡を！

環境省「特定外来生物ヒアリに関するお問い合わせ」先

[https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/attention/
05_contact/index.html](https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/attention/05_contact/index.html)